

# 人間ドックコース検査のご説明

- BMI** ■ 肥満、やせの指標となります。18.5未満は低体重、25以上は肥満と言われています。
- 眼底検査** ■ 眼底を撮影し糖尿病、高血圧などによる網膜の変化の有無を調べます。
- 眼圧測定** ■ 緑内障の検査です
- 胸部レントゲン** ■ 肺の炎症、腫瘍、心臓の肥大などがわかります。
- 心電図** ■ 心筋梗塞や不整脈などを調べます。
- 肺機能** ■ 肺活量などを調べます。慢性閉塞性肺疾患（COPD）、喘息などの検査です。
- 胃透視もしくは胃カメラ** ■ 食道、胃、十二指腸の一部の炎症、腫瘍の有無を調べます。  
胃カメラでは、ピロリ菌を調べることもできます。鼻からの胃カメラ検査も可能です。
- 腹部エコー** ■ 肝臓、胆のう、膵臓、脾臓などの病変がわかります。
- 便潜血** ■ 便に血が混じっている場合、大腸癌の疑いがあります
- 尿検査** ■ 糖尿病、腎臓、泌尿器の病気がわかります
- 総蛋白、アルブミン** ■ 体の栄養状態の指標です。
- GOT (AST),GPT (ALT)** ■ 慢性肝炎、急性肝炎、脂肪肝などで数値は上がります。
- γ-GTP、ALP** ■ 胆汁の流れが悪い時に上がります。γ-GTPはアルコールや脂肪肝でも上がります。
- T-Bil** ■ 胆汁の流れが悪いと上昇し、黄疸となります。
- LDH** ■ 肝障害、心筋梗塞、悪性腫瘍などで上がります。
- ChE** ■ 肝臓でつくられる酵素です。肝機能が悪い時や栄養状態が悪い時に下がります
- アミラーゼ** ■ 膵臓、唾液腺の病気で上がります。
- 尿素窒素、クレアチニン** ■ 腎機能がわるいと上がります。
- 尿酸** ■ 痛風の検査です。腎機能が悪くても上がります。
- コレステロール、中性脂肪** ■ 動脈硬化になり易いかどうかの指標です。
- CPK** ■ 筋肉に含まれる酵素です。心筋梗塞や筋肉の炎症などで上がります。
- Na Cl、K** ■ 血液中のミネラル(電解質)です。腎疾患などで変化します。
- Ca** ■ 副甲状腺の異常などで変化します。
- 血糖、HbA1c** ■ 糖尿病の検査です。
- ガラス板、TPHA** ■ 梅毒の検査です。
- HBs抗原** ■ B型肝炎の検査です。
- HCV抗体** ■ C型肝炎の検査です。
- CRP、血沈** ■ 体に炎症があるかどうかを調べます。
- RF** ■ リウマチの検査です。
- 血液一般のうち**
- 赤血球、Hb、Ht** ■ 貧血の有無を調べます
- 白血球** ■ 炎症のある時に上がります。アレルギーでも一部の白血球が上がります。
- 血小板** ■ 出血を止める働きをします。
- マンモグラフィー** ■ 乳房を圧迫して撮影し、腫瘍や炎症の有無を調べます。
- CEA** ■ 腫瘍の血液検査で、肺がん、消化器がん、卵巣がんなどで上がります。
- PSA** ■ 腫瘍の血液検査で、前立腺がんが上がります。
- CA125** ■ 腫瘍の血液検査で、卵巣がん、子宮がんなどで上がります。
- 子宮がん(頸部)** ■ 綿棒あるいはブラシで、頸部に異常な細胞が無いかを調べます。

